

【問い合わせ先】

石垣海上保安部交通課

課長 宜保 仁久

電話 0980-82-4842（内線 5091）



令和 8 年 1 月 2 6 日

石垣海上保安部

令和7年石垣管内における海難発生状況(速報値)
～スノーケリング及びダイビングの事故が過去5年間で最多～

- 船舶事故 13隻（前年比-7隻）、死者・行方不明者 2人（前年比+2人）
 - 船舶事故隻数が過去5年間で最少
 - 運航不能及び乗揚による事故が、事故隻数全体の半数以上を占め、依然として高い割合
- マリンレジャー中の人身事故者24人（前年比+8人）、死者・行方不明者10人（前年比+6人）
 - スノーケリング中の事故者は9人、ダイビング中の事故者は8人となり、過去5年間で最多
 - 死者・行方不明者10人で過去5年間で最多（内8人がスノーケリング・ダイビング中に発生）

事故の特徴等

【船舶事故】

- 事故船舶全体のうち、漁船（5隻）とプレジャーボート（4隻）で約7割を占めている。
- 事故原因で最も多いのは運航不能と乗揚であり、運航不能のうち最も多い原因は機関故障で3隻、乗揚のうち最も多い原因は見張り不十分で2隻であり、どちらも人為的要因により発生している。

【マリンレジャー中の人身事故】

- 入域観光客数の増加に伴い、観光客の事故者数も増加傾向にある。
- スノーケリング中の事故は全て自然海岸で発生しており、事故者全員が40代以上の中高年層であるほか、事故者の約8割がライフジャケット非着用であった。また、マリンレジャー中の死亡・行方不明者10人の内7人がスノーケリング中であった。
- ダイビング中の事故者の約6割が50代以上の観光客であり、事故原因は海水誤飲による溺水のほか、心疾患などの病気による事故も発生している。

今後の安全啓発活動

石垣海上保安部では、引き続き関係機関等と連携して安全啓発活動を実施します。

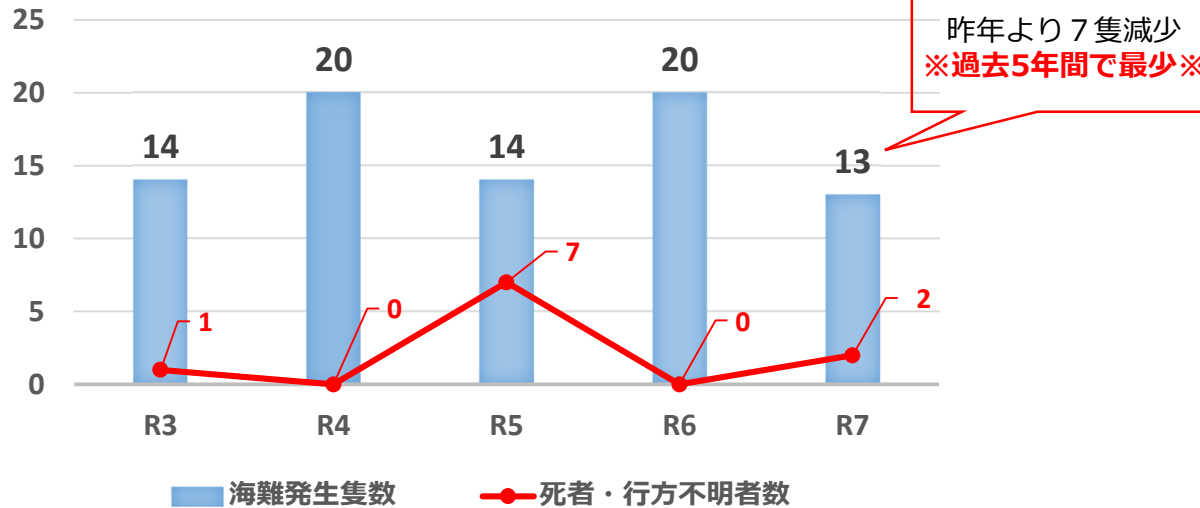
【船舶事故の防止】

- 船舶所有者等に対する船舶管理の徹底及び整備事業者による定期的な点検整備の推奨のほか、ライフジャケット着用徹底などの安全啓発（漁港、マリーナ等）

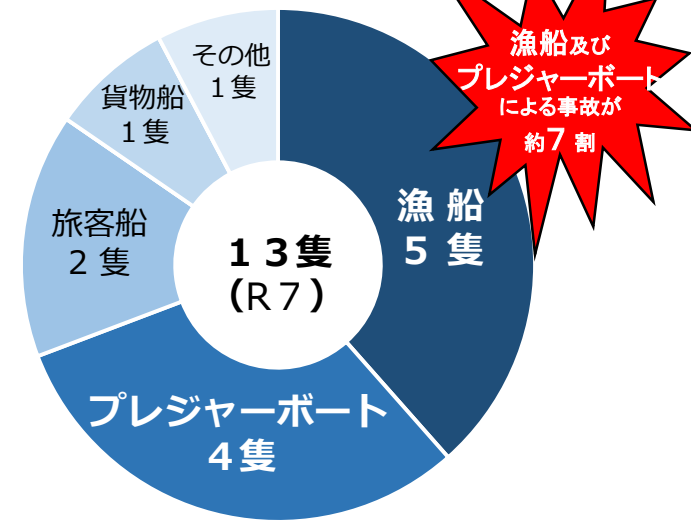
【マリンレジャー中の事故の防止】

- 観光客(外国人を含む)に対する、体調管理及び気象海象の確認、スノーケリングの基本4点セット（ライフジャケット、マスク、スノーケル、フィン）装着の推奨などの安全啓発（海水浴場、自然海岸、フェリーターミナル等）

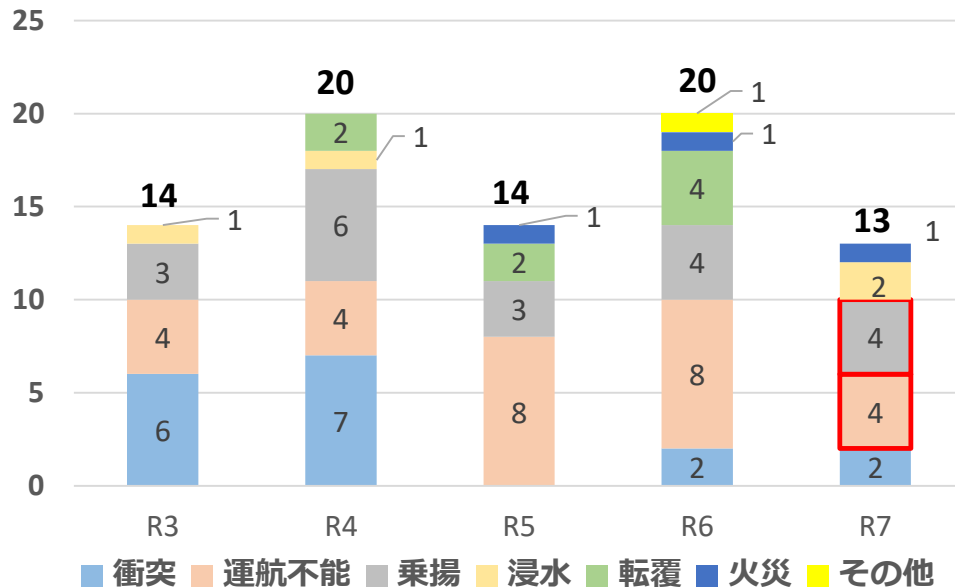
船舶事故発生状況（年別・R3-R7）



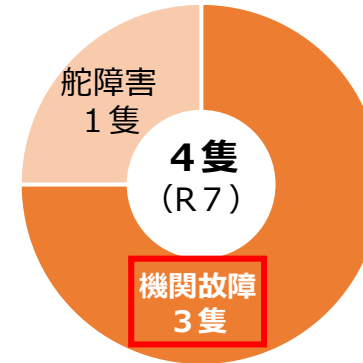
船種別の事故発生状況



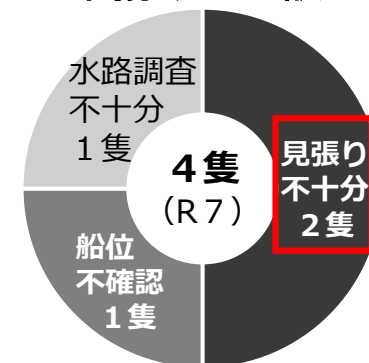
事故種類別の事故発生状況（年別・R3-R7）



運航不能の内訳



乗揚げの内訳



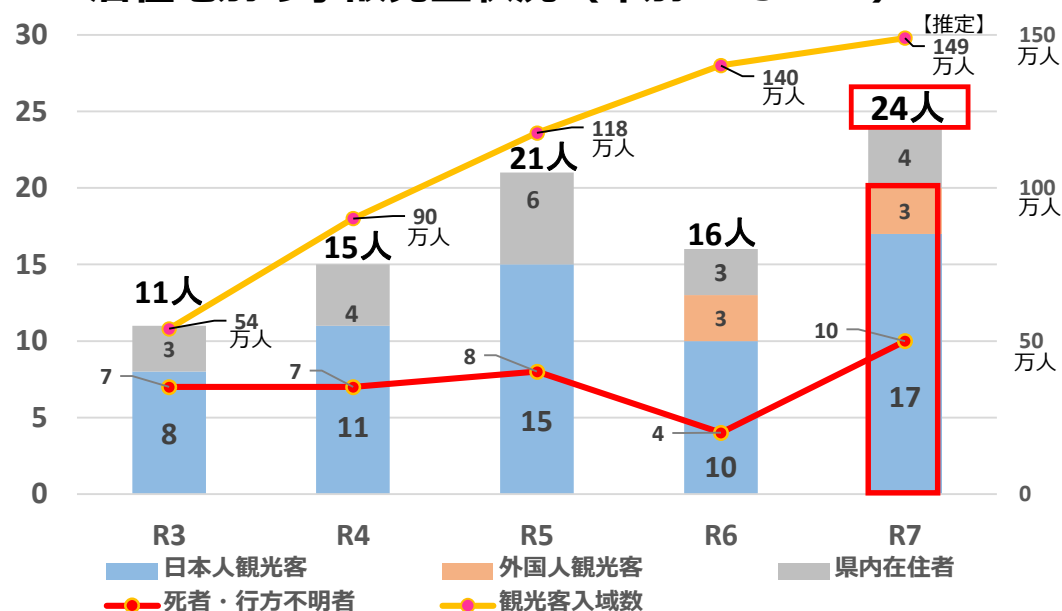
【機関故障】（運航不能）

- 主に燃料系や電気系、冷却系部分の定期的な部品交換の未実施によるものであり、全て人為的要因による事故。

【見張り不十分】（乗揚げ）

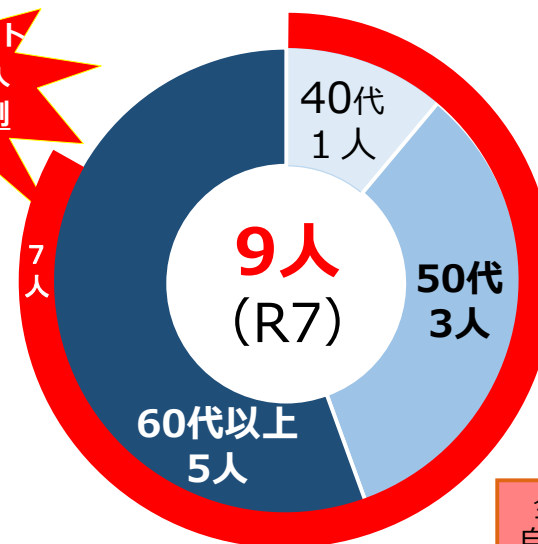
- 居眠り運航や見張り要員の未配置など、全て人為的要因による事故。

居住地別の事故発生状況（年別・R3-R7）



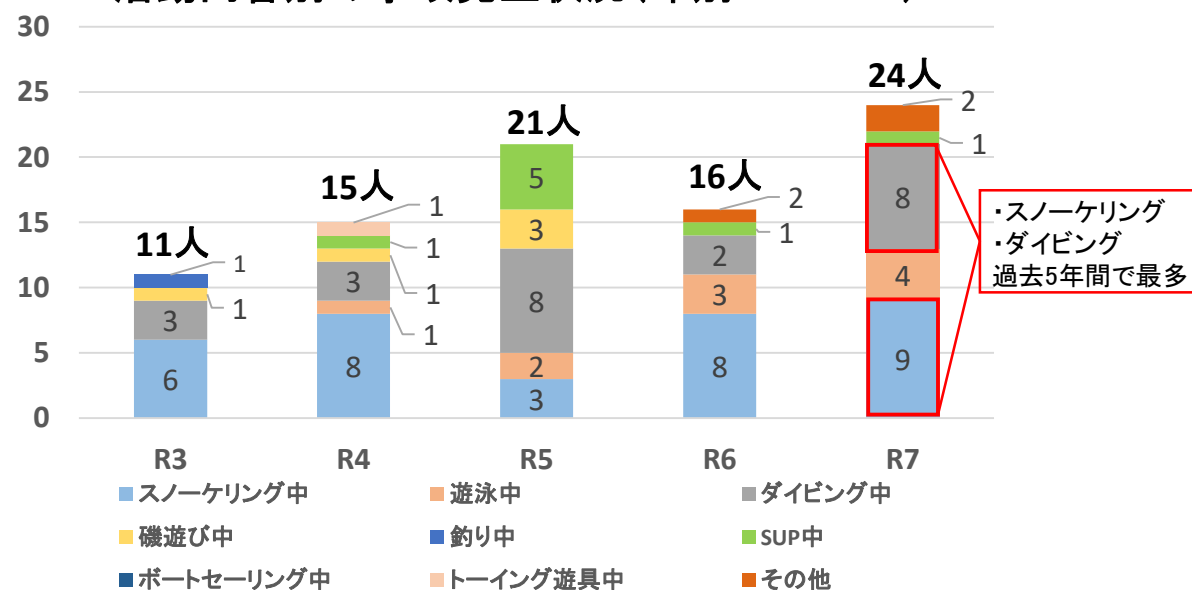
スノーケリング中事故者の年齢別

ライフジャケット
未着用者7人
全体の約8割

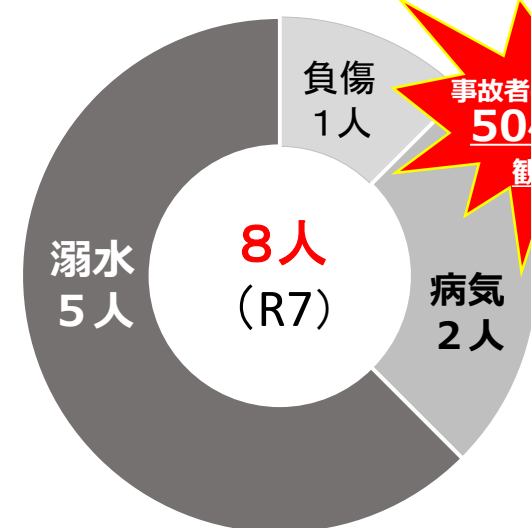


全ての事故が
自然海岸で発生

活動内容別の事故発生状況（年別・R3-R7）



ダイビング中事故者の原因別



事故者の約6割が
50代以上の
観光客